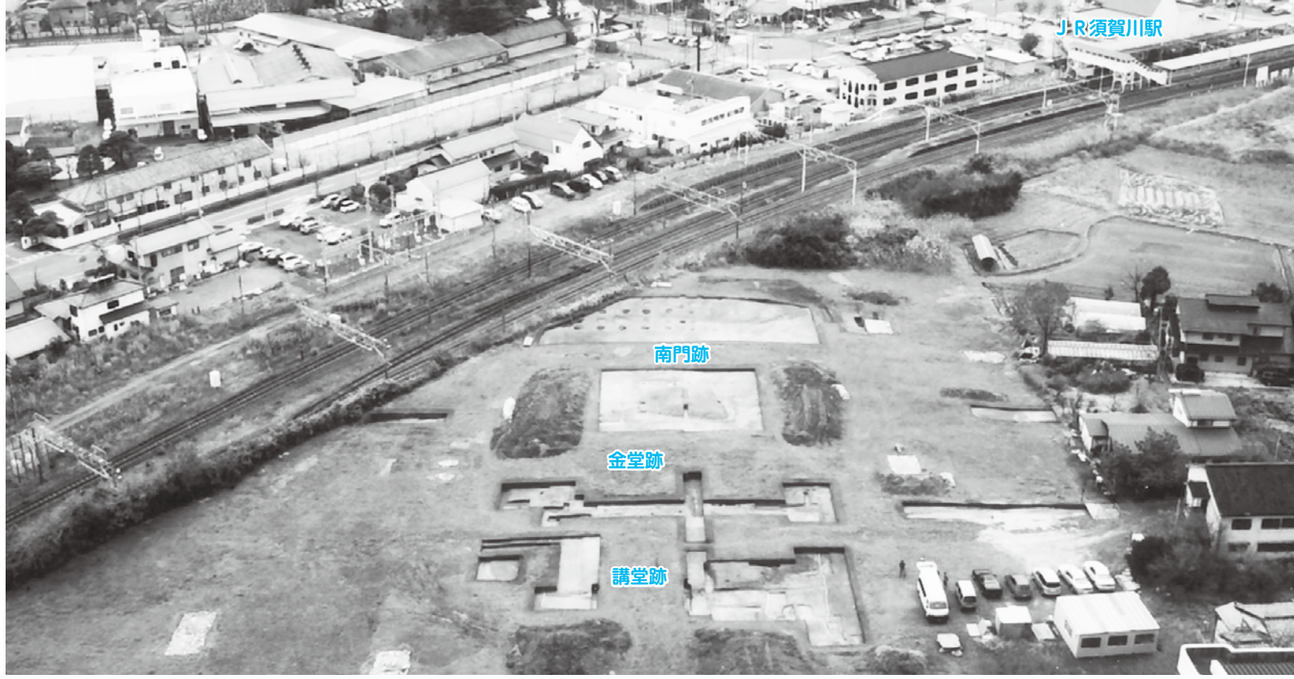


平成19年度調査時に北側（第二中学校側）から撮影した「上人壇廃寺跡」。南から南門跡・金堂跡・講堂跡が一列に並ぶ伽藍配置で、全国的にみて類例の少ない貴重な発見です

■ 石背国建国1,300年・上人壇廃寺跡国史跡指定50周年記念事業

「まぼろしの国　石背（いわせ）」開催！

― 企画展示や各種イベントで古代の須賀川を体感 ―

文化振興課☎(88)9172

今年は、養老2（718）年に「石背国（いわせのくに）」が建国されて1300年、上人壇廃寺跡（しょうにんだんはいじあと）が昭和43年に国の史跡に指定されて50年の節目の年です。これを記念し、博物館での企画展示や各種イベントを行います。皆さん、ぜひ古代の須賀川を体感してください。

石背国と上人壇廃寺跡

今から1300年前、陸奥国（むつのくに）（現在の東北地方南部）から石背国が独立しました。

石背国は、わずか数年のみの存続でしたが、同様に独立した石城国（いわきのくに）と併せて、現在の福島県の形を示した最初の事例です。この石背国の中心は、須賀川市と推測されています。

また、この時期に創建されたと考えられる寺院が、上人壇廃寺跡です。JR須賀川駅の北側に位置し、昭和36年の発掘調査で、一辺が約80メートルの溝に囲まれた中に、南門・金堂・講堂が一列に並ぶ伽藍（がらん）配置が明らかとなり、昭和43年に国の史跡に指定されました。

※伽藍　寺院の建物

上人壇廃寺跡から出土した瓦塔

多彩なイベントでお待ちしています

市博物館で企画展示「まぼろしの国　石背」

期間　9月1日（土）～30日（日）

※休館日　9月3日（月）・10日（月）・18日（火）・25日（火）

開館時間　午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

展示内容

▼宮城県色麻（しかま）町上新田（かみしんでん）遺跡出土「石背」墨書（ぼくしょ）土器

▼上人壇廃寺跡出土遺物（瓦・瓦塔（がとう）・金鼓（きんこ）・経軸端（きょうじくたん））

※県指定重要文化財

▼高木（たかぎ）遺跡出土遺物（浜尾遊水地発掘調査）

観覧料　無料（常設展も無料）

講演会

日時　9月1日（土）　午前10時30分～正午

会場　市博物館

演題　「上人壇廃寺跡と日本の古代寺院」

講師　清水重敦（しみずしげあつ）さん（京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授）

定員　50人

歴史ウォーク「古代の須賀川」

日時　9月15日（土）　午前10時～正午

集合場所　ふれあいセンター

コース　ふれあいセンター→栄町遺跡→上人壇廃寺跡→うまや遺跡→ふれあいセンター

※徒歩で駅周辺の石背郡衙（ぐんが）関連遺跡群を巡ります。

定員　30人

参加料　300円（レクリエーション保険・資料代・飲み物代を含む）

申し込み　8月17日（金）から、文化振興課で受け付けます。

※定員になり次第締め切り

ワークショップ「復活！上人壇廃寺跡」

日時　9月29日（土）　午後1時～3時30分

会場　上人壇廃寺跡（第二中学校南側）

内容

▼県立博物館学芸員の荒木隆（あらきたかし）さんによる説明

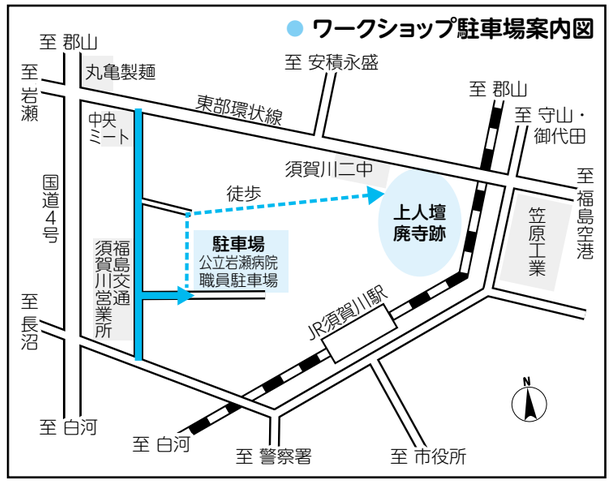
▼現地で伽藍の範囲を示すワークショップ

▼ミニ瓦づくり体験　など

その他

▼駐車場は、須賀川駅西側の公立岩瀬病院職員の駐車場をご利用ください（上の図のとおり）。

▼雨天のときは、第二中学校で行います。



古墳時代前期（4世紀代）に造られた「団子山古墳」

（日照田地区）

団子山古墳の現地説明会を開催

全長65メートル以上の前方後円墳

平成24年から福島大学行政政策学類が発掘調査を実施している、日照田地区の団子山古墳の現地説明会を開催します。

中通り地方では数少ない古墳時代前期（4世紀代）の古墳で、この時期では県内で3例しかない埴輪（はにわ）が出土しています。

また、円墳と思われていましたが、これまでの調査で全長65メートル以上の前方後円墳であることなどを確認しています。

本年度からは、本市と福島大学が共同で発掘調査を行い、後円部の埋葬施設へ続く墓道と思われる痕跡や、後円部北側の調査を予定しています。

日時　8月26日（日）　午後1時30分～3時

会場　団子山古墳（日照田字入ノ久保地内）

送迎バス　大東公民館から会場まで往復無料バスを運行します（出発は午後1時15分を予定）。

※会場には駐車場がないので、大東公民館の駐車場をご利用ください。

その他

▼足元が悪いので、長靴などをお持ちください。

▼雨天のときは、大東公民館講堂で説明会を行います。

問 **文化振興課（88）9172**